

# 目次

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 2014ハイライト！ .....            | 1  |
| 長岡京市第二期環境基本計画について .....     | 4  |
| 1. エネルギーを大切にするまちづくり .....   | 5  |
| 2. 資源循環型社会の形成 .....         | 15 |
| 3. 自然環境の保全 .....            | 20 |
| 4. 快適な都市環境づくり .....         | 25 |
| 5. 協働・環境学習・エコアクションの推進 ..... | 31 |

# 2014ハイライト！

## ステップアップ・チャレンジ会議

ステップアップ・チャレンジ会議とは、長岡京市第二期環境基本計画を推進していくための実行組織です。市民・事業者・行政との協働により、長岡京市の環境のまちづくりについて考え、自ら取り組んでいこうとする組織です。平成25年度からの準備期間を経て、今年度から「ステップアップ・チャレンジ会議」として、本格的に事業をスタートしました。

現在、「長岡京環境検定チーム」と「省エネ推進チーム」の2つのプロジェクトが進行しています。



受検会場の様子

10代から80代まで  
幅広い世代が受検！



## 「長岡京環境検定」を初実施！

9月7日（日）に、第1回となる「長岡京環境検定」を実施しました。

『長岡京市環境検定』は、「環境づくりの市民力アップ！」事業の一環として、市民が長岡京市の環境に関心を持ち、これからを担う世代と共に、環境に配慮した行動に取り組むことを目指しています。

出題した問題は、市民有志らが「広報長岡京」の紙面や環境に関する基礎知識から作問したものです。

54名の方が受検され、検定後には解説を行い、身近な環境の知識を確かめ合いました。

## 省エネナビモニター事業を開始！

省エネナビをモニター家庭に貸し出し、電力を「見える化」することで日々の電気使用量を意識し、家庭の省エネを推進する事業をスタートしました。

モニター家庭は広報紙やホームページで募集し、貸出期間中は、モニター同士の情報交換や省エネ市民アドバイザーによるアドバイスの場として「意見交換会」を開催し、「楽しく省エネ！」を合言葉に家庭の省エネを推進しました。

その結果、平成26年度は、夏の部（6～9月）・冬の部（11月～2月）であわせて、延べ18世帯の方に参加いただき、平均で昨年度比14.8%の削減となり、当初の目標“10%削減”を見事に達成しました。

今後は、モニター家庭で実際に取り組まれた工夫やコツを情報発信し、楽しく取り組める省エネをより多くの家庭に広めていきたいと思っています。



省エネナビモニター意見交換会

## 薪ストーブ設置&薪購入の補助はじまる！！

### 薪ストーブ設置補助金スタート！

西山の森林整備によって産出する間伐材を活用し、地域資源の循環と地球温暖化防止を図るため、西山産薪の利用や適正な管理を条件に、薪ストーブの設置者に対して、設置費用の2分の1以内（上限10万円）を補助する制度を開始しました。平成26年度は、個人宅が2件、事業所が1件の計3件の設置補助を行いました。西山産薪の購入を条件とし、地球温暖化防止と地域資源の循環する仕組みづくりを促進します。



### 西山産薪購入補助金スタート！

西山の森林整備によって生じる間伐材を活用するため、長岡京市森林組合は西山産薪（主にコナラ、クヌギ）の販売を始めました。収益は森林整備費用に充てられます。

これに合わせ、より多くの方に西山産薪を活用してもらうため、市では薪の購入補助金制度を開始しました。平成26年度の補助実績は、個人・事業所あわせて20件、計804束となりました。西山の豊かな自然を未来の子どもたちへ残すため、地域資源が循環するまちを目指します。

## 平成26年度“環境の都”賞受賞者

### 長岡京市里山再生市民フォーラム

平成15年に四季折々の豊かな西山の里山再生を目指して発足された環境ボランティア団体です。西山キャンプ場を中心に活動され、自然調査や森林・竹林の整備、遊歩道の整備などの活動に継続的に取り組んでこられました。また、大幅に減少しているドングリのなる木の森を再生するため、市内小学校と連携しながら環境学習活動を行い、次世代を担う子どもたちへ、西山の豊かな自然を守り、伝える活動に取り組まれています。このような活動が認められ、平成25年度には国土交通省の「水資源功労者表彰」を受賞されました。



### 株式会社京都銀行

長い歴史と文化を持つ京都に本拠をおく銀行として、自然環境や文化的遺産の保全と次世代への継承に努めてこられました。各店舗での廃棄物の減量をはじめ、小学校へのリサイクルトイレットペーパー寄付活動などに取り組まれています。またLED照明の導入や屋上緑化、太陽光発電の設置など、地球にやさしい環境配慮型の店舗づくりに積極的に取り組み、昨年には、最先端の技術を結集した「CO2排出量ゼロ」の店舗として東長岡支店を新築されました。その画期的な環境配慮型の店舗の実現は、地域の事業所づくりを牽引するものとして意義深いものです。

# 長岡第四小学校低炭素杯 2015

2年連続受賞！

～「最優秀地域・学校エコ活動賞」を受賞！～

地球温暖化防止の取り組みを競う「低炭素杯2015」が2月13・14日に東京ビッグサイトで開かれ、長岡第四小学校が「最優秀地域・学校エコ活動賞」の栄冠に輝きました。昨年の「最優秀次世代賞」に続き、2度目の受賞です。

同校では、コンポストによる家庭の生ごみ減量や生ごみたい肥を活用したゴーヤの苗づくりに取り組み、その苗を配ってグリーンカーテンの輪を地域に広げている点が評価されて今回の受賞となりました。

当日は大勢の観客が見守る中、大きなステージで堂々と発表し、全国へ学校の取り組みを発信しました。



## 第6回環境フェアの開催

平成26年11月15日（土）長岡京市立中央公民館で6回目となる環境フェアを開催しました。事業所や環境ボランティア団体など計31団体が参加し、活動発表の展示や子どもも大人も楽しめる体験ブースを出展しました。今年は初めて“カーボンオフセット”のイベントとして実施し、来場者や関係者にPRしたことで、地球温暖化防止についての啓発が図られました。

市民ホールでは“環境の都”賞・グリーンカーテンコンテスト・環境への想いを絵にしよう最優秀賞の表彰式のほか、「こども環境フェスティバル」が開催され、4つの小学校から76名の子ども達が日ごろの研究や取り組みについて発表を行いました。

今年度の来場者は約700名でした。より多くの方に来場していただき、環境都市宣言を広め、関心を持っていただけるように、来年度以降も魅力ある企画づくりや広報に努めます。

